



ゆずり葉だより

健康で
明るい
まちづくり



編集・発行/ゆずり葉コミュニティ 事務局・広報 発行部数 4,500部
 住所 〒665-0024 宝塚市逆瀬台6丁目1番1号 宝塚市立逆瀬台小学校内
 <Eメール> yuzuriha-c.wing@orange.zero.jp 連絡先/中村 TEL72-5644
 <ブログ> http://www.hnpo.comsapo.net/yuzuriha/
 <ホームページ> http://yzrh.exblog.jp/ <FAX/TEL> 0797-73-8839

逆瀬台小学校区
10,000人のまちづくり

第55号



宝塚市まちづくり協議会代表者会議

(1) 自然を活かした健康長寿のまちづくり

★ 当コミュニティは高齢者が多いことから、高齢者が何時までも健康で、介護が要らないように暮らしていくこと（長野県で取組んでいる運動「ピンピンコロリ・PPK運動」が理想である。このため、豊かな自然を保全し、その自然を活かして整備してきた「健康づくり散策路」「白瀬川の自然を育てる会」等の一層の充実を図り、自主的な整備・管理につとめる。

1. ゆずり葉散策路の東南側の入口となる若瀬橋一帯を魅力ある空間とする。

(2) ふれあいと助け合いで安心して暮らせるまちづくり

★ 今後、高齢者率が益々高くなっていくことから、地域の憩い・交流の場としてくみづくり、高齢者が安心して社会参加、日常生活ができるしくみづくりに取り組む。

★ また子ども達から高齢者までがふれあえ、コミュニティの活性化につながるような施設づくり、活動に取り組む。

10. 逆瀬台1丁目の市有地（ガソリンスタンド横の空き地）に、児童・高齢者までがふれあえる交流施設（児童館、図書館、老人憩いの家、集会所、体育室、クッキー

(3) 安全・安心・便利なまちづくり

★ 近年の車の保有率の増加にともない、当地域でも自動車交通量は年々増加し、人と車が交錯し、一部の道路では大変危険な状況が見受けられる。安心して歩けるような交通対策を推進する。

★ 高齢者も多く、公共交通の充実や車椅子で安心して通行できるような道路環境づくりを推進する。

16. 西山住宅前の歩道設置事業
 県道明石神戸宝塚線の一部（西山住宅前）には歩道がなく、大変危険な区間がある。この区間の歩道整備を推進する。

この歩道設置計画は、以前から計画があり、平成10年7月の兵庫県議会で「交通事故防止対策（歩道L=40m、W=3m事業）」として予算が成立している。しかし、未だ具体化をみていない。交通量も多く、児童の通学にも支障が出ており、このままでは尊い人命を失うことにもなりか

2面に続く



2月21日（土）、神戸・阪神南・阪神北の3県民局合同で「県民交流広場ふれあい研修会」が開催され、当会は阪神北県民局を代表し、テーマ「地域コミュニティの合意形成と活性化への方策」として発表しました。



2月10日（火）、宝塚市議会で「議場コンサート」が開かれました。これからの地域コミュニティをより一層活性化するには、「市民・市長/行政・議会のトライアングル」を構築し、協働の場を広げる仕組みが必要となってきました。



2月17日（火）、東海市から「行政視察」で事務改善委員会の5名の職員が宝塚市職員2名とともに来訪され「まちづくり協議会の研修会」を行いました。複雑・多様化する地域課題に対応していくための研修会でした。



1月16日（金）、1.17は忘れない「阪神大震災メモリアル事業」としてコミュニティと逆瀬台小学校が連携した地域防災訓練を行い、炊き出し訓練として豚汁400人分とアルファ米のおにぎりをつくり賑やかな訓練となりました。

見直した「まちづくり地域計画」を決定!!

ゆずり葉コミュニティは、平成15年12月9日宝塚市へ「まちづくり地域計画」提案書を提出しました。

それ以来、まちづくり計画を単なる計画に終わらせないために「推進会議」「現地踏査」「地域創造会議」や「タウンミーティング」によってフォローしながら計画の実現を図ってきました。

この度、平成23年度から始まる第5次宝塚市総合計画の策定スケジュールと連動させるため、前回の「まちづくり地域計画」を見直し、地域ごとの「まちづくり計画進行管理チェックシート」として平成21年3月18日に提出しました。

平成21年度から、この見直した「まちづくり地域計画」を、PLAN「計画」、DO「実行」、CHECK「評価」、ACTION「改善」のサイクルを大切にしてフォローしていきます。

第5次総合計画策定に向けた基礎資料「まちづくり計画進行管理チェックシート」決まる

ングルーム、健康器具の設置した部屋等の機能を備えた複合施設）または、子ども達がのびのびと遊べる広場の整備を検討する。

11. 地域のコミュニティ活動の中心となる、「ゆずり葉コミュニティルーム」を更に一層有効活用するため、周辺の環境条件の充実、例えば必要最低限の駐車場新設や出入り口等の整備を行う。

12. 併せて、参加者おさそい相乗り運動の実施や福祉タクシー乗り合い制度、ミニバス（100円バス）の導入を検討していく。

13. 地域の有志に、街かどふれあいスペース（蔵書の公開、オーブンガーデン、趣味の作品展など）を提供してもらい、地域住民間のふれあい・交流を活発にする。

14. 独居老人の意向をふまえながら、病弱、持病がある人や障害がある人達の希望をまとめ、緊急通報システムや買い物の手伝いなどの具体的な見守り運動を民生委員と連携して構築・展開する。

15. 空巢、痴漢、いたずら電話が多発していることから、防犯対策として、交番と警ら箱、警察官立寄り所の設置を要望するとともに防犯パトロールを強化する。児童の防犯に対しては、アトム110番の周知に努める。